

令和6年度 林道維持修繕に係る現地検討会を開催しました

7月22日（月）に開催された「令和6年度 林道維持修繕に係る現地検討会」には県・市町村・林業事業体・木材運搬業者・局署職員計38名が参加しました。

局森林整備課設計指導官から、林道が悪くなる原因は主に「水」であり、排水処理をきちんとしていないと修繕してもすぐに壊れてしまうため、修繕の前に日頃から林道や橋梁の維持管理が重要である等、林道の維持修繕に関する状況について説明がありました。

本検討会では、修繕した林道を長期間維持できるように、安価に路面を補強できる手法として東北局が独自に考案した「東北式シート工法」の概要説明、および実演をしました。「東北式シート工法」は不織布シートを使用し、路床と路盤を分離させることにより砕石が沈まないようにすることが目的です。この工法をみた参加者は興味をもってシートを触っていました。

また、意見交換では「本当に効果があるのか」など疑問の声も含め、闊達な意見交換となりました。

このシート工法は、試験的なものであり、効果がどのくらい発揮されるか今後に期待です。

当署としては、事業を行ううえで基盤となる林道の維持について、修繕後も長く使用できるような様々な意見を取り入れ、新しい技術の試行や照会にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。

